

財政事情の公表

一般会計決算

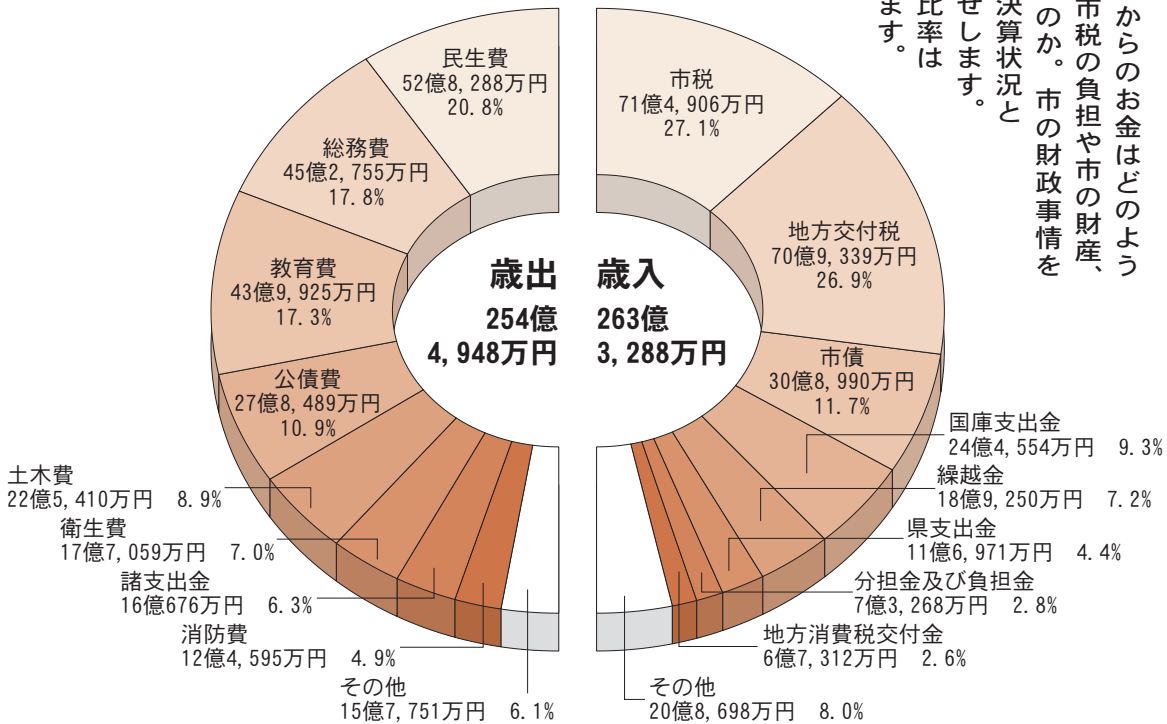
歳出総額は254億円

平成19年度一般会計の決算は、歳入263億3,288万円、歳出254億4,948万円で、歳入歳出差引額8億8,340万円から翌年度に繰り越すべき財源7,927万円を控除した実質収支額は8億413万円となりました。

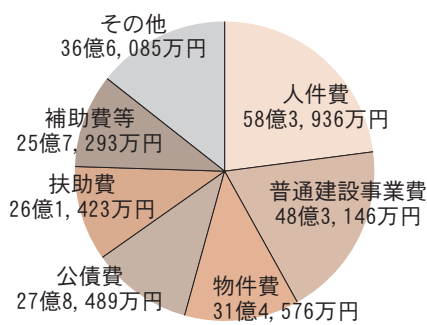
歳入の構成比は、市税が27.1%（71億4,906万円）で最も高く、地方交付税が26.9%（70億9,339万円）が続いています。

歳出の構成比で最も高いのが民生費の20.8%（52億8,288万円）で、総務費17.8%（45億2,755万円）、教育費17.3%（43億9,925万円）がこれに続きます。

皆 さんが納めた税金や、国・県からのお金はどのように使われているのか。また、市税の負担や市の財産、市が借りているお金はどのくらいなのか。市の財政事情を知っていただくため、平成19年度の決算状況と平成20年度の予算執行状況をお知らせします。なお、決算状況やそれに基づく各比率は市のホームページでもご覧いただけます。



性質別歳出の内訳

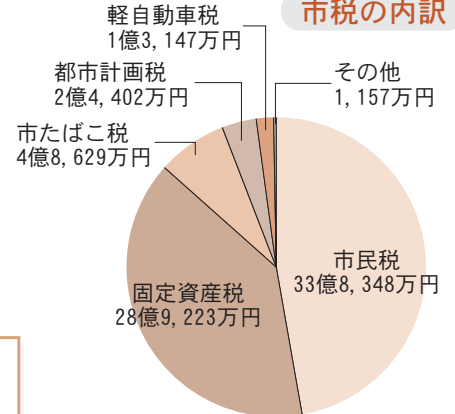


市民
1人当りに
使われたお金
36万円

市民
1人当たりが
負担した市税
10万1千円

〔人口 70,609人 世帯数 24,268世帯〕
※平成20年3月31日現在

市税の内訳



旭中央病院アクセス道整備事業	1億6,629万円
道路新設改良事業	1億9,103万円
H-1-002号線交通安全施設整備事業	2,930万円
H-1-005号線地方特定道路整備事業	5,770万円
防衛施設周辺民生安定事業	6,185万円
コミュニティバス等運行事業	5,301万円
消防車両整備事業	1億5,562万円
消防施設整備事業	3,886万円
防災基盤整備事業	1,336万円
あさひ健康パーク整備事業	1億2,892万円
文化の杜公園整備事業	2億3,368万円
袋公園整備事業	6,197万円

決算における主な事業

環境衛生対策推進事業	3,879万円
不法投棄防止活動事業	949万円
自立支援給付事業	3億9,504万円
地域包括支援センター運営事業	388万円
児童手当給付事業	5億369万円
放課後児童健全育成事業	5,311万円
小中学校大規模改造事業	18億5,806万円
第二中学校改築事業	5億5,295万円
「園芸王国ちば」強化支援事業	3,035万円
畜産環境総合整備統合事業	8,850万円
商業活性化推進事業	1,757万円

平成19年度特別会計決算

○国民健康保険事業特別会計(事業勘定)

歳入決算額	81億3,299万円
歳出決算額	76億9,511万円

○国民健康保険事業特別会計(施設勘定)

歳入決算額	8,127万円
歳出決算額	6,446万円

○老人保健特別会計

歳入決算額	41億9,268万円
歳出決算額	40億4,505万円

○介護保険事業特別会計

歳入決算額	32億7,686万円
歳出決算額	31億8,446万円

○下水道事業特別会計

歳入決算額	7億1,543万円
歳出決算額	6億7,700万円

○農業集落排水事業特別会計

歳入決算額	5,851万円
歳出決算額	5,851万円

○水道事業会計

収益の収入決算額	18億9,914万円
収益の支出決算額	16億1,235万円
資本の収入決算額	1億6,150万円
資本の支出決算額	5億7,673万円

○病院事業会計

収益の収入決算額	300億4,732万円
収益の支出決算額	297億763万円
資本の収入決算額	3,219万円
資本の支出決算額	26億5,576万円

○国民宿舎事業会計

収益の収入決算額	1億7,898万円
収益の支出決算額	1億9,319万円
資本の収入決算額	0円
資本の支出決算額	1億702万円

健全化判断比率・資金不足比率

地方公共団体の財政状況を判断するため、「健全化判断比率」と「資金不足比率」の算定および公表が平成19年度から義務付けられました。

平成19年度決算に基づく各比率は以下のとおりで、いずれの指標も早期健全化基準*を下回り「健全段階」でした。

〈健全化判断比率〉

○実質赤字比率 赤字額なし

一般会計の実質赤字額の標準財政規模に対する比率です。

○連結実質赤字比率 赤字額なし

公営企業会計を含むすべての会計の実質赤字額の標準財政規模に対する比率です。

○実質公債費比率 19.2%

〔早期健全化基準25%、財政再生基準35%〕

実質的な公債費に費やした一般財源の額が標準財政規模に占める比率です。

○将来負担比率 121.7%

〔早期健全化基準350%〕

一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。

〈資金不足比率〉

○資金不足比率 資金不足額なし

公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する比率です。

*早期健全化基準＝健全化判断比率のいずれかがこの基準以上の場合は、財政健全化計画を定めなければなりません。

平成20年度予算の執行状況

一般会計

H20.9.30現在

歳出

予算額	270億1,213万円
支出済額	97億7,015万円
予算執行率	36.2%

支出済額(執行率)

議会費	1億1,523万円	48.0%
総務費	13億406万円	38.4%
民生費	22億8,236万円	40.4%
衛生費	7億881万円	39.2%
農林水産業費	2億7,585万円	15.8%
商工費	2億2,858万円	40.0%
土木費	7億3,830万円	24.3%
消防費	4億9,926万円	22.3%
教育費	13億9,094万円	37.7%
その他	22億2,676万円	48.0%

歳入

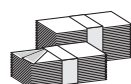
予算額	270億1,213万円
収入済額	121億6,570万円
予算収入率	45.0%

収入済額(収入率)

61.8%	43億6,639万円	市税
69.1%	49億3,246万円	地方交付税
41.9%	3億1,084万円	分担金及び負担金
42.8%	1億6,704万円	使用料及び手数料
17.3%	3億9,149万円	国庫支出金
16.1%	3億1,691万円	県支出金
46.3%	1,601万円	財産収入
100.0%	8億8,340万円	繰越金
20.6%	7,856万円	諸収入
11.5%	7億260万円	その他

市の財産

H20.9.30現在



基金

62億2,722万円



建物

210,054㎡

土地

1,802,652㎡

市債(市で借りているお金)の現在高

H20.9.30現在

一般会計

特別会計

456億6,253万円	
学校建設などに	58億8,292万円
道路整備などに	46億349万円
衛生施設などに	14億6,381万円
農業基盤整備などに	13億668万円
消防・防災などに	4億6,429万円
保育所建設などに	4億1,742万円
その他	110億6,652万円
下水道事業に	44億7,475万円
水道事業に	26億187万円
病院事業に	133億8,078万円